放送大学奈良学習センターリカレント連続講演会「名作をジェンダーの視点で読み直す」

第2回 ブラム・ストーカー 『吸血鬼ドラキュラ』 講師:中川 千帆氏

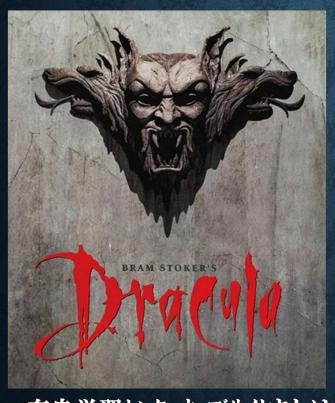
(奈良女子大学文学部教授)

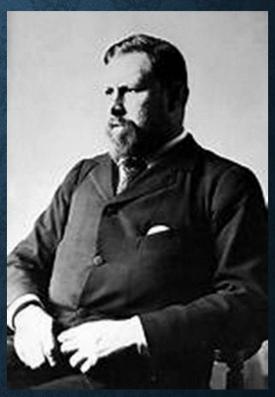
日 時 12月13日(土)14時30分から16時30分

会 場 奈良女子大学文学系N棟101教室

※地図は裏面に掲載しています

『吸血鬼ドラキュラ』は現在の吸血鬼のイメージを決定づけたゴシック小説の傑作です。 19世紀後半のトランシルヴァニア(ルーマニア)とイギリスを中心に展開する恐ろしい吸血 鬼の物語には、ジェンダーやセクシュアリティの問題を様々に見ることができます。ヴァン・ ヘルシングたちは何を守ろうとしているのか、吸血鬼となったルーシーが官能的なのはなぜ なのか、ミーナはなぜ理想の女性なのか、当時と現代の視点からジェンダー問題として読 み解いていきます。





奈良学習センターウェブサイトまたは右のQRコードからお申し込み下さい 難しい場合は電話でお申し込み下さい。定員60名で先着順に受付けます。

主催 放送大学奈良学習センター (Tel: 0742-20-7870)

共催 奈良女子大学文学部言語文化学科「ジェンダー言語文化学プロジェクト」 奈良国立大学機構奈良カレッジズ連携推進センター

参加費無料 申込先着順



講師紹介 中川 千帆(なかがわ ちほ)

奈良女子大学文学部言語文化学科教授。アメリカ文学とゴシック小説や犯罪小説 を対象に、ジェンダーやセクシュアリティの問題を研究しています。最近の論文に 『ジェンダーロールの呪縛と越境』(英宝社2023年)所収の「女性の居場所と職業・ 二〇世紀犯罪小説の看護師探偵たち―」があります。

リカレント連続講演会

「名作をジェンダーの視点で読み直す」

ジェンダー(gender)とは、社会的・文化的・歴史的な性のあり方を示す言葉です。しかし、学校 教育のなかでジェンダーという言葉が使われるようになったのは最近のことで、世の中にはこれを単 純に男女格差のことだと誤解している人も多く、そもそもそれが文学や歴史、社会を考えることとど う結びつくのかよくわからないという声もあります。

文学が私たちの社会の写し鏡だとしたら、文学作品にはその時代の文化的な性のあり方(ジェン ダー)が色濃くあらわれているはずです。この連続講演会でジェンダーの視点をもって文学を読むこ とを体験してみませんか?

誰もが知っている名著、教科書に出ていたあの名作でも、ジェンダーの視点で読み直してみると、 これまでとは違った印象になります。そして今後の読書の楽しみも倍増するはずです。

こちらも是非ご参加ください。(1回のみの参加でも可) 他回のご案内

第1回 11月22日(十)14時30分から16時30分 於:放送大学奈良学習センターZ306講義室 シャルル・ペロー『赤ずきん』 講師: 高岡 尚子氏(奈良女子大学文学部教授)

第3回 1月17日(十)14時30分から16時30分 於:放送大学奈良学習センターZ306講義室 夏目 漱石『こころ』 講師:吉川 仁子氏(奈良女子大学文学部准教授)

第4回 1月24日(十)14時30分から16時30分 於:放送大学奈良学習センターZ308講義室 樋口 一葉 『たけくらべ』 講師: 笹尾 佳代氏(同志社大学文学部教授)

2月 7日(土)14時30分から16時30分 於:放送大学奈良学習センターZ308講義室 エミリー・ブロンテ『嵐が丘』 講師:市川千恵子氏(奈良女子大学文学部教授)

第6回 2月14日(土)14時30分から16時30分 於:放送大学奈良学習センターZ308講義室 ゲーテ『ファウスト』 講師:児玉 麻美氏(奈良女子大学文学部准教授)

第5回

会場のご案内

 $\mp 630 - 8506$ 奈良市北魚屋西町 奈良女子大学文学系N棟101教室 奈良女子大学に正門より入構、 記念館北側の建物1階です。 当日は誘導看板を設けます。

駐車場はございません。 公共交通機関により お越しください。

